

## 「仲間」と「感謝」

村上市立村上第一中学校 3年 中 東 惠

私にとって「仲間」はかけがえのない存在です。あなたにとって「仲間」とは、どんな人ですか。

私は吹奏楽部に所属しています。1年生の頃、コンクールに向けた練習が想像以上に辛く、辞めてしまおうと挫折しかけたことがあります。しかし、先輩の姿を見て自分も頑張らなければいけないと思い、3年間続けることができました。同じ学年のメンバーとも、3年間、皆で助け合いながら頑張ってきました。励まし合い、時には注意し合いながら乗り越えてきたこの経験は、これからずっと自分のためになると思います。

また、クラスの仲間にもたくさん助けられました。何か悩み事や辛いことがあると、いつも話を聞いて励ましてくれました。私は、その度に「仲間がいてよかった」と感じました。

よく、「人は一人では生きられない」と聞きますが、本当に「そうだな」と実感しました。これまで様々な活動を行ってきた中で、自分だけでやり遂げたことなど、数えるくらいしかないかもしれません。「一人」というものは、時には無力なのです。

今、いじめが社会問題になっています。皆さん、よく考えてみてください。いじめによって得をする人は果たしているのでしょうか。私はいないと思います。

いじめをしている人も、いじめによって仲間を失っているのではないのでしょうか。いじめをしている人は、それを見ている人からすれば、「とても嫌な人」です。あなたなら、そんな誰かをいじめている人と仲良くしたいと思いませんか？普通は思わないでしょう。そして、いつの間にかいじめている人には、誰も自然と近寄らなくなってしまいます。

「あの人とは何となく気が合わないから。」「私と好みが違うから」なんていう理由で仲間はずれにしたりする。そんなことは、もうやめませんか。

人には、相性や好みというものがあります。だから、誰にでも「苦手な人」とか「接しにくそうな人」はいると思います。全ての人を好きになるのは難しいことです。しかし、だからといって仲間外れにしたりするのは悪いことです。「この人接しにくそうだな」と感じて、自分が仲良くしたいんですという思いを持って接すれば、きっと誰とでも打ち解けられると思います。

私は、いじめなんていうもので仲間を失ってしまうのは、もったいないことだと思います。いろいろな人と接することで、いろいろなことを学び、感じるができるからです。

私の周りには、様々なタイプの人があります。元気な人、大人しい人、サバサバしている人、ものごとに慎重な人……。もし周りの人が自分と同じタイプばかりだったら、おもしろくないかもしれません。

いろいろな人がいることで、まとめるのが大変で、なかなか一つになれなかったりということもあります。

しかし、そんな人たちと団結し、一つになったと思える時の嬉しさ、達成感は本当に素晴らしいものです。そういう経験は、とても貴重で、ためになります。自分は成長でき、

皆と仲良くなれます。こんなにすごいことは、他にはありません。だから、私はできるだけいろいろな人と接して行きたいです。

そして、忘れてはいけないのは、感謝のことばと笑顔です。どんなに小さなことでも声に出して、笑顔で「ありがとう」ということは、とても大切なことです。お互いにほんわかした、穏やかな気持ちになれます。

少し照れくさかったり、恥ずかしくてもきちんと感謝の気持ちを伝える。そんなささいなようなことでも、皆が明るい気持ちになれるのです。

皆さんも、仲間を大切にしてください。そして、きちんと伝えましょう。

「ありがとう」と。